

IV 調査結果の概観

IV 調査結果の概観

1. 生活環境の満足度

ここでは、生活環境の満足度（問4）と定住意向（問2）をクロス集計し、定住意向・転出意向を持つ区民の満足・不満足的项目を明らかにしていく。

問2の選択肢を下記に置き換えて集計する。

「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」：定住意向のある人

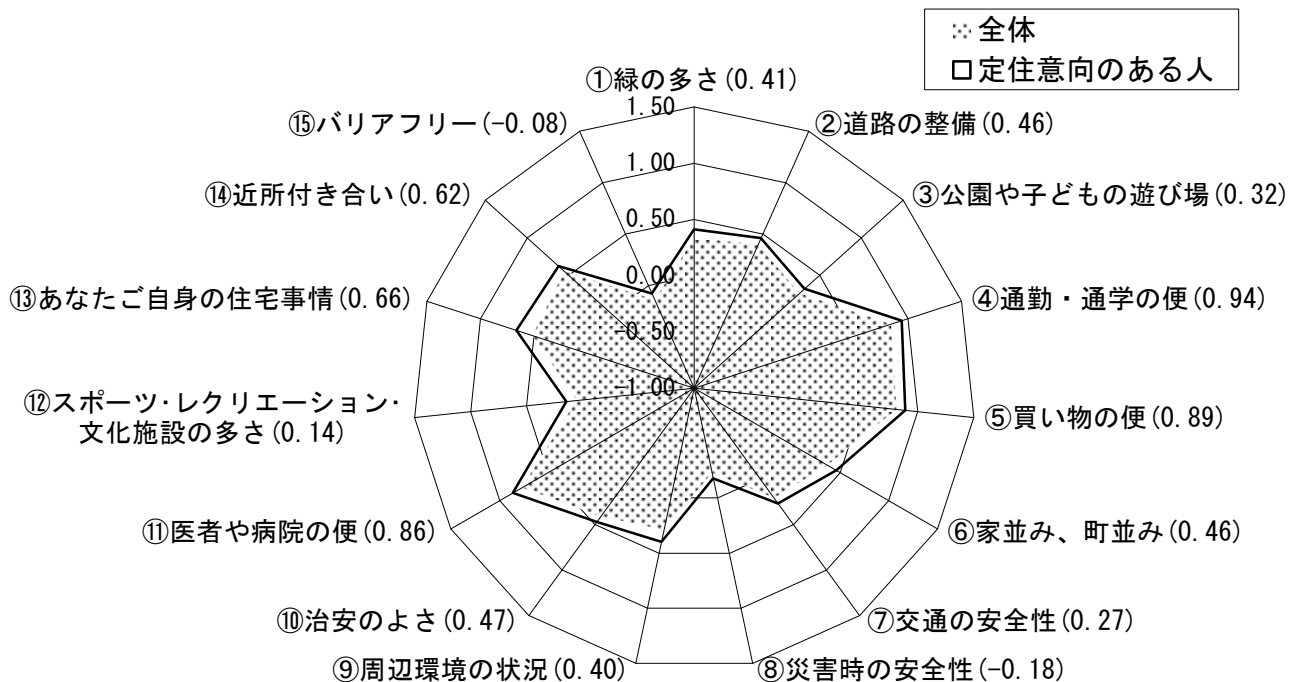
「できれば大田区外へ移りたい」と「大田区外へ移りたい」：転出意向のある人

また、49ページで求めたのと同様に、15項目にわたる生活環境の満足度の比較をしやすいするため、それぞれの回答を点数化し、下記の計算式で各項目の評価点を求めた。

$$\text{評価点} = \frac{\text{(再掲)} \quad \text{「満足している」} \times 2 + \text{「ほぼ満足している」} \times 1 + \text{「少し不満である」} \times (-1) + \text{「不満である」} \times (-2)}{\text{回答者数}}$$

(1) 定住意向のある人

問2：「ずっと住み続けたい」、「当分は住み続けたい」と回答した人（n=897）

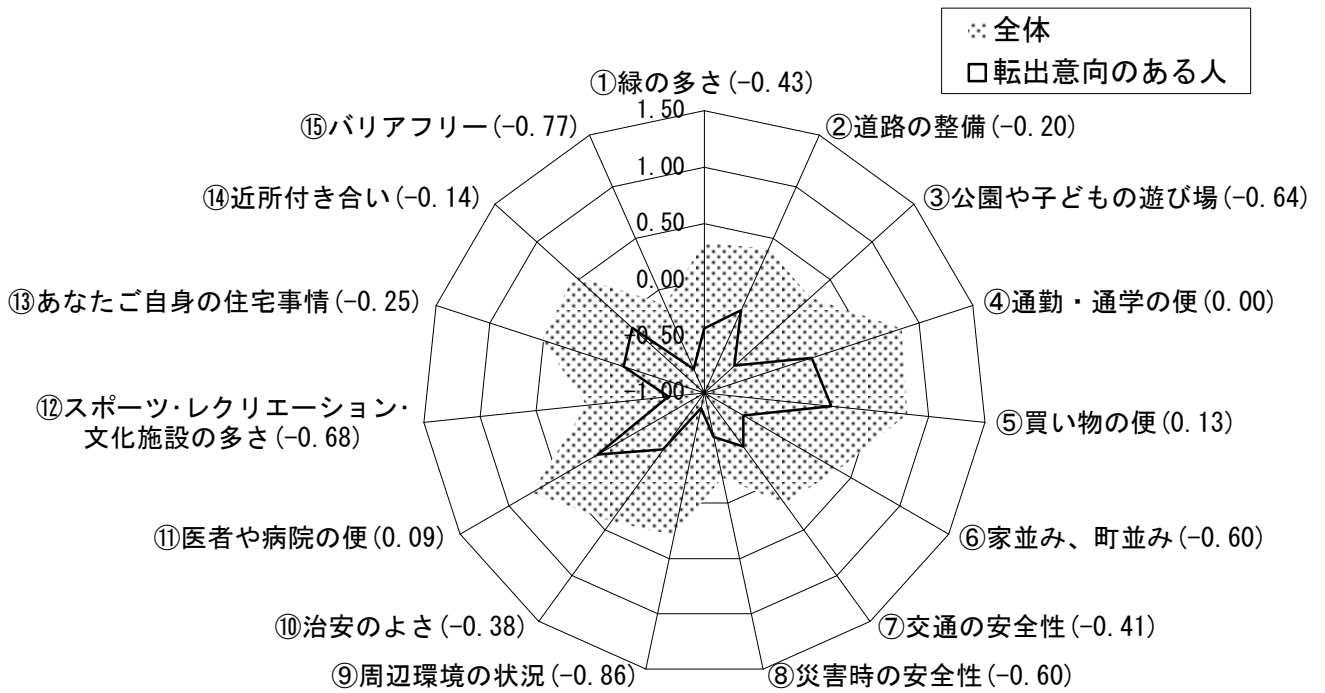


15項目の生活環境の満足度の評価点を全体と比較すると、「定住意向のある人」では、全ての項目で全体を上回っている。特に「あなたご自身の住宅事情」(0.66)が0.15ポイント、「周辺環境の状況」(0.40)が0.11ポイント、「通勤・通学の便」(0.94)が0.10ポイント上回って、評価が高くなっている。

一方、全体より評価は高いものの、「定住意向のある人」の中で評価の低い項目は、「災害時の安全性」(-0.18)、「バリアフリー」(-0.08)、「スポーツ・レクリエーション・文化施設の多さ」(0.14)の順となっている。

(2) 転出意向のある人

問2：「できれば大田区外へ移りたい」、「大田区外へ移りたい」と回答した人 (n=71)



15項目の生活環境の満足度の評価点を全体と比較すると、「転出意向のある人」では、全ての項目で全体を下回っている。特に「周辺環境の状況」(-0.86)が1.15ポイント、「家並み、町並み」(-0.60)が0.97ポイント、「公園や子どもの遊び場」(-0.64)が0.90ポイント下回って、評価が低くなっている。

一方、全体より評価は低いものの、「転出意向のある人」の中で評価の高い項目は、「買い物の便」(0.13)、「医者や病院の便」(0.09)、「通勤・通学の便」(0.00)の順となっている。

(3) 評価点一覧

問4 生活環境の満足度	全体 評価点	定住意向のある人 評価点	転出意向のある人 評価点
①緑の多さ	0.33	0.41	-0.43
②道路の整備	0.40	0.46	-0.20
③公園や子どもの遊び場	0.26	0.32	-0.64
④通勤・通学の便	0.84	0.94	0.00
⑤買い物の便	0.81	0.89	0.13
⑥家並み、町並み	0.37	0.46	-0.60
⑦交通の安全性	0.21	0.27	-0.41
⑧災害時の安全性	-0.23	-0.18	-0.60
⑨周辺環境の状況	0.29	0.40	-0.86
⑩治安のよさ	0.41	0.47	-0.38
⑪医者や病院の便	0.77	0.86	0.09
⑫スポーツ・レクリエーション・ 文化施設の多さ	0.05	0.14	-0.68
⑬あなたご自身の住宅事情	0.51	0.66	-0.25
⑭近所付き合い	0.55	0.62	-0.14
⑮バリアフリー	-0.14	-0.08	-0.77

「買い物の便」と「医者や病院の便」は定住意向の有無にかかわらずプラスの評価となっており、今後もこの水準を維持していきたい点と考えられる。一方、「災害時の安全性」と「バリアフリー」は定住意向の有無にかかわらずマイナスの評価となっており、改善が必要な点と考えられる。